

## 第1章 | 都市づくりの目標

1. 都市づくりの基本理念
2. 都市づくりの基本方針
3. 将来推計人口  
(本市が目指す将来展望)
4. 将来都市構造



# 第1章 都市づくりの目標

## 1. 都市づくりの基本理念

### 【将来都市像】

笑顔が輝き 夢と魅力あふれる  
**未来創造都市**

### 【基本理念】

- 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり
- 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり
- 安全・安心を身近に実感できるまちづくり
- にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり
- 将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり
- 自然と共生する潤い豊かなまちづくり

本市は、新産業都市の建設を基軸に一層の発展を遂げ、県都として、確たる地位を占めるまでになっています。

近年では、少子高齢化の進展と人口減少社会の到来、地球規模での環境問題の深刻化、自然災害の多発などに伴うさまざまな社会情勢の変化がみられます。

このようななか、「大分市総合計画 おおいた創造ビジョン 2024」(2016(平成28)年6月)が策定され、本市のまちづくりの基本方針が示されました。

そこで、大分市都市計画マスタープランの将来都市像を、上位計画である「大分市総合計画 おおいた創造ビジョン 2024」が掲げる都市像に合わせ、「笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市」と設定します。

また、「大分市総合計画 おおいた創造ビジョン 2024」で定めた6つの基本的な政策を基本理念とします。

## 第1章 都市づくりの目標

### 2. 都市づくりの基本方針

都市づくりの基本理念に基づき、それを実現するための都市づくりの基本方針を以下のように定めます。

#### 基本方針1 ▶ 県都にふさわしい広域都心の形成

本市は、県及び東九州の政治・経済・文化・交通などの拠点として重要な役割を担っており、県都にふさわしい中枢的な都市機能の集積に向けた広域都心の総合的な都市整備を推進します。



#### 基本方針2 ▶ 広域的な交流・連携やまちづくりを交える交通体系の確立

県及び東九州の拠点都市として、広域的な交流・連携を支える交通体系の構築を目指します。また、都市の産業や生活など都市活動を円滑にする道路網や公共交通網の整備を推進し、だれもが快適に移動できる持続可能な交通ネットワークの構築を図るとともに、自家用車や自動二輪車、自転車などの私的交通との最適な組合せにより、まちづくりを支える交通体系の確立を図ります。



#### 基本方針3 ▶ ライフスタイルを豊かにする快適で安全な住環境と地区拠点を中心としたコンパクトな都市づくり

市民一人ひとりが豊かさを実感できる快適で安全な住みよい環境の創出を図るとともに、多極ネットワーク型集約都市※を目指し、広域都心と各地区拠点を中心とした都市機能の集積・強化、効率的かつ健全な都市の発展に資する土地利用などを図り、市域全体の暮らしやすさや地域活力の維持・増進に努めます。



※多極ネットワーク型集約都市：教育、福祉、商業施設などの生活サービス機能をコンパクトに配置し、地域の特性を生かした拠点の形成と、拠点間を相互につなぐなど、交流・連携の骨格となる交通体系の形成・強化を進める考え方。それにより、新たな魅力の創出や市域全体の暮らしやすさ、活力の維持・増進につながり、高齢者や子どもなど、だれもが将来にわたり身近な場所で安心して快適に暮らせるまちづくりを目指すもの。

**基本方針4 ▶ 都市の個性と風格を醸成し集客力を高める都市の魅力創出**

地域ごとの多様なまちづくりニーズを充分把握するなかで、本市の歴史、文化など都市の個性を發揮した先進的な都市空間の形成を図るとともに、都市の風格を高める質の高い都市景観づくりを推進し、集客力を高め、魅力ある都市を創出します。



**基本方針5 ▶ 人と自然とが共生できる豊かな自然環境の保全・活用と身近な緑、水辺の再生**

本市が有する特色ある自然との共生を図るため、豊かな自然環境を保全・活用するとともに、都市にうるおいを与える身近な緑や水辺の再生に努めます。



**基本方針6 ▶ 自然災害に備える防災機能の向上と危機管理体制の確立**

近年多発する大規模災害への対応として、ハード、ソフト両面からの防災・減災への取組を推進するとともに、迅速な復旧・復興等に資する都市づくりを進めます。



**基本方針7 ▶ 産学官民が協働して参画する都市づくりの推進**

本市が、地域の特性を生かした持続可能な都市となるように、市民や行政などがそれぞれの役割と責任を明確にしなが、互いに協働して参画できる自主的な都市づくり活動を推進します。



## 第1章 都市づくりの目標

### ■都市づくりの基本理念

#### 【将来都市像】

笑顔が輝き 夢と魅力あふれる  
未来創造都市

#### 【基本理念】

- 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり
- 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり
- 安全・安心を身近に実感できるまちづくり
- にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり
- 将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり
- 自然と共生する潤い豊かなまちづくり



### ■都市づくりの基本方針

- 基本方針1 県都にふさわしい広域都心の形成
- 基本方針2 広域的な交流・連携やまちづくりを支える交通体系の確立
- 基本方針3 ライフスタイルを豊かにする快適で安全な住環境と地区拠点を中心としたコンパクトな都市づくり
- 基本方針4 都市の個性と風格を醸成し集客力を高める都市の魅力創出
- 基本方針5 人と自然とが共生できる豊かな自然環境の保全・活用と身近な緑、水辺の再生
- 基本方針6 自然災害に備える防災機能の向上と危機管理体制の確立
- 基本方針7 産学官民が協働して参画する都市づくりの推進

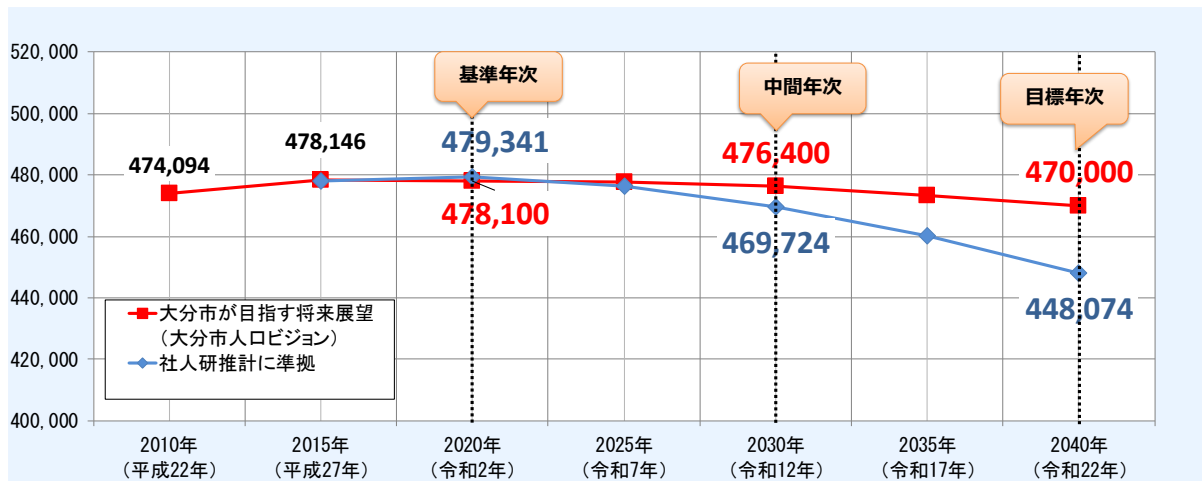
### 3. 将来推計人口（本市が目指す将来展望）

本計画の将来推計人口は、以下のとおりです。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、このままの状況で人口が推移していけば、2010（平成22）年から2040（令和22）年までの30年間で、本市の総人口は約2.6万人減少し、少子高齢化が一層進展することが予測されています。

一方、「大分市人口ビジョン」における大分市が目指す将来展望においては、自然増対策と社会増対策に取り組むことにより、人口減少に歯止めがかかり、2040（令和22）年の本市の人口は、47万人程度となると推計されています。

#### 将来推計人口

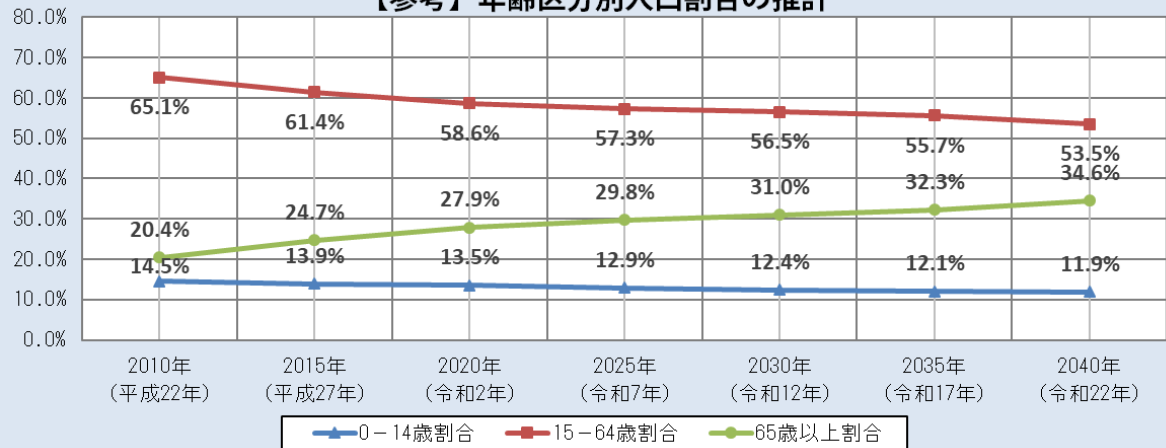
	中間年次(令和12年)	目標年次(令和22年)
大分市が目指す将来展望（大分市人口ビジョン）	476,400 人	470,000 人
社人研（国立社会保障・人口問題研究所）推計	469,724 人	448,074 人



※実績値（2010（平成22）年・2015（平成27）年）は、国勢調査結果

※推計値は、「大分市人口ビジョン」に示す「大分市が目指す将来展望」及び「国立社会保障・人口問題研究所平成30（2018）年推計」結果

#### 【参考】年齢区分別人口割合の推計



※年齢区分別人口割合の推計は、「国立社会保障人口問題研究所平成30（2018）年推計」結果

### 4. 将来都市構造

都市構造とは、都市の骨格を自然的、社会的要素や土地利用、都市機能の配置などを空間的、概念的に表したものであり、現在の都市構造に本市の都市づくりの基本理念や基本方針を踏まえたものを将来都市構造と言います。

将来都市構造では、以下に示すように「広域都市連携」のもと「広域都心」「拠点地区」「都市軸」「土地利用特性」といった構成を設定します。

#### (1) 広域都市連携

広域都市連携では、以下の連携軸を設定し、市域を越えた他都市との連携の強化を図ります。

##### 1 | 東九州都市連携軸

- ・北九州市から本市を経て宮崎市に至り、東九州の拠点都市を連携する軸である東九州自動車道の4車線化等による機能強化を促進します。
- ・東九州新幹線の整備実現に向けて、国や九州各県、関係機関などと連携して事業の推進を図ります。
- ・JR 日豊本線の高速・複線化を促進するとともに、高速バスネットワークの強化を図ります。

##### 2 | 別府湾都市連携軸

- ・本市とともに、別府湾に面して位置する別府市、杵築市、日出町などの都市を連携し湾岸軸を形成する国道213号、国道10号、国道197号、大分空港道路などについて必要な整備を促進します。
- ・JR 日豊本線については、各駅の交通結節機能の強化、バリアフリー化、列車ダイヤの充実などによる利便性の向上を促進します。

##### 3 | 日田・筑後方面都市連携軸

- ・由布市、日田市、久留米市方面との連携軸を形成する国道442号及び国道210号の拡幅整備の促進などによる機能強化を図ります。
- ・JR 久大本線については、各駅の交通結節機能の強化、バリアフリー化、列車ダイヤの充実などによる利便性の向上を促進します。

##### 4 | 阿蘇・熊本方面都市連携軸

- ・竹田市、熊本市など、中九州の都市との連携軸を形成する国道10号、国道442号及び国道57号バイパスである中九州横断道路の整備促進による機能強化を図ります。
- ・JR 豊肥本線については、各駅の交通結節機能の強化、バリアフリー化、列車ダイヤの充実などによる利便性の向上を促進します。



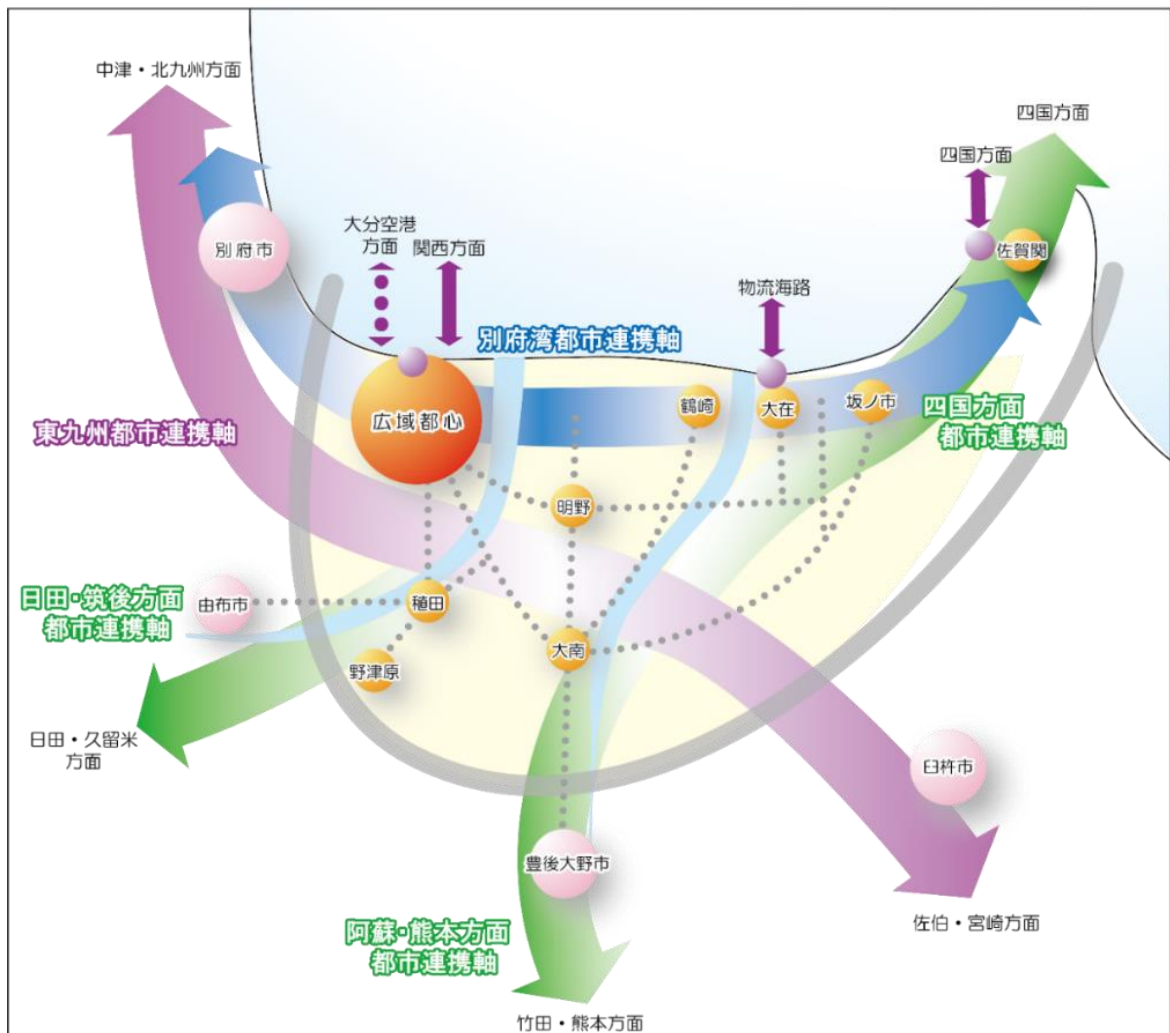
5 | 四国方面都市連携軸

- ・四国方面との連携軸である国道197号の未整備区間の改良を促進するなど、国道九四フェリーとともに、機能強化を図ります。また、豊予海峡ルート（豊後伊予連絡道路、四国新幹線）の整備など本市と四国・関西方面を結ぶ太平洋新国土軸構想の実現に向けて、国や九州・四国各県、関係機関などと連携した取組を進めます。

6 | 海路による連携

- ・フェリーターミナルとして四国・関西方面と連携する大分港西大分地区及び佐賀関港並びに物流を中心に国内外と連携する大分港大在地区及びその周辺地区については、海の玄関口としての機能強化を図ります。
- ・本市中心部から大分空港へのアクセス改善について、時間短縮効果や災害時のリダンダンシー確保等の観点からホーバークラフト等による海上アクセス導入に向けた検討を進めます。

広域都市連携図



## 第1章 都市づくりの目標

### (2) 将来都市構造

#### 1 | 広域都心

本市のみならず、県都としてふさわしい役割を担い、各種機能が集積し、政治・経済・文化の中心としての機能を果たしている JR 大分駅の南北を中心に、西大分から大分川左岸、県立病院から JR 南大分駅周辺までを取り込んだ地域を広域都心とし、以下の拠点などを設定し、商業・業務や各種サービス機能を担う拠点として、既存の商業・サービス機能の再編・活性化及び風格とにぎわいのある広域都心の形成を図ります。

#### ■ a. 都心拠点（大分都心拠点）

##### (a) 駅北・商業業務都心

- ・ JR 大分駅北地区の既成市街地については、商業・業務機能の強化により拠点性を高めつつ、教育・文化や観光・余暇など新たな機能の集積と、公有地の活用による憩いと交流の場を創出することにより都市の魅力を伸展させ、集客力のある商業・業務地の形成を図ります。また、駅南北の都心機能の連携を強化し、県都にふさわしい都心拠点の形成を図ります。

##### (b) 駅南・情報文化都心

- ・ JR 大分駅南地区については、文化交流機能や情報系業務機能、都市型居住機能などの集積を図るとともに、緑豊かで先進的な情報文化都心の形成を図ります。



駅北・商業業務都心（祝祭の広場）



駅南・情報文化都心  
（大分いこいの道（出典：おおいたきれい百選））

#### ■ b. 広域都心を形成する他の拠点

##### 【湾岸交流拠点】

##### ○西大分湾岸交流拠点

- ・ 大分港西大分地区周辺については、西大分湾岸交流拠点と位置付け、海の玄関口として港湾機能や交通結節機能、交流機能の強化とともに、良好な景観の創出を図ります。

##### 【生活拠点】

##### ○湾岸拠点

- ・ 新川地区周辺については、湾岸拠点と位置付け、都心居住の促進を図ります。

## ○南大分健康文化拠点

- ・ 県立病院や総合公園が立地する南大分地区については、南大分健康文化拠点と位置付け、その活用を図ります。

## ○複合文化交流拠点

- ・ ホルトホール大分は、文化、福祉、健康、産業及び教育の拠点機能を有し、市民が集い、学び、憩い、にぎわい、交流する場として、人と文化と産業をはぐくみ、創造、発信する複合文化交流拠点として位置付け、さらなる発展を目指します。

## 【交通結節拠点】

### ○大分駅交通結節拠点

- ・ 駅前広場の利便性向上に取り組むとともに、路線バスや高速バス、貸切バス、タクシーなど他の公共交通の円滑な乗継環境の向上など、交通結節機能の強化に向けた取組を進め、県都大分市の玄関口にふさわしい交通結節拠点の形成を図ります。

## 【観光拠点】

### ○歴史文化観光拠点

- ・ 中世・近世の歴史的資源が集積する元町・顕徳町周辺地区及び大分城址公園周辺地区を歴史文化観光拠点と位置付け、歴史的風致の維持及び向上を図るとともに、資源を生かした文化・観光による拠点づくりを推進します。

### ○芸術文化拠点

- ・ 大分県立美術館・オアシス広場2 1と大分市美術館は、芸術文化にふれあい、特色ある地域の芸術文化情報を発信する芸術文化拠点として位置付け、拠点間の連携により中心市街地の回遊性を高めていきます。

## 【緑の拠点】

- ・ 大分城址公園周辺及び JR 大分駅周辺、上野丘周辺、大友氏遺跡歴史公園周辺については、広域都心部における緑の拠点と位置付け、保全・活用を図ります。



芸術文化拠点（大分県立美術館）



緑の拠点（大友氏遺跡歴史公園）

## 第1章 都市づくりの目標

### ■ c. 都心軸

- ・ 湾岸拠点から中央通り～JR 大分駅～大分いこいの道を通り都心の森に至る南北軸については、都心の顔となるメインストリートとして植栽などによる緑化や修景などによる都心南北軸の形成を図ります。
- ・ 中心市街地内においては、駅南北の一体性を確保するため、にぎわいのある歩行者空間や緑と文化が感じられる空間を創出し、都心魅力回廊軸や文化と緑の回廊軸の形成を図ります。
- ・ 大分川の両岸については、河川敷を活用した散策路、自転車道の整備など、水辺の交流軸の整備を図ります。

## 2 | 拠点地区

都市の発展を牽引する都市機能が集積している地区を以下のように拠点地区と設定し、既存の都市機能の活用を図るほか、徒歩・自転車での移動が可能な生活圏の中で、商業、医療などのさまざまな日常的なサービスを楽しむ生活環境の形成を図るとともに、地域の特性を生かした個性的で魅力ある拠点地区の形成を図ります。

### ■ a. 地区拠点

#### (a) 鶴崎地区拠点

- ・ JR 鶴崎駅周辺地区については、商業・業務機能と都市型居住機能の集積による地区拠点の形成を図ります。

#### (b) 南部地区拠点

- ・ JR 中判田駅周辺地区については、本市南部の交通の要衝となることから、交通結節機能の強化と駅の利便性を生かした計画的な市街地整備による地区拠点の形成を図ります。

#### (c) 戸次地区拠点

- ・ 戸次本町及びその周辺地区については、地区計画などを活用し歴史的なまちなみや文化を生かした地区拠点の形成を図ります。

#### (d) 植田地区拠点

- ・ 市・玉沢地区については、隣接する由布市挾間町と中心市街地を結ぶ交通の要衝でもあることから、商業・業務機能の集積による地区拠点の形成を図ります。

#### (e) 大在地区拠点

- ・ JR 大在駅周辺地区については、臨海部や内陸部に集積する工業・流通系産業に関連した商業・業務機能などの集積による地区拠点の形成を図ります。

#### (f) 坂ノ市地区拠点

- ・ JR 坂ノ市駅周辺地区については、商業・業務機能の集積により、地区の生活や業務の拠点となる地区拠点の形成を図ります。

**(g)明野地区拠点**

- ・明野中心部地区などについては、次世代型都市再生が進められており、文化・商業・業務機能の集積により、地区の生活や業務の拠点となる地区拠点の形成を図ります。

**(h)佐賀関地区拠点**

- ・地区の生活拠点となっている佐賀関市民センター周辺地区については、良好な景観を生かしながら、商工業・水産業との連携を図ることにより、地区の生活や業務の拠点となる地区拠点の形成を図ります。

**(i)野津原地区拠点**

- ・野津原市民センター周辺地区については、周辺の恵まれた自然環境の保全を図るとともに、生活利便施設の集積により、地区の生活や業務の中心となる地区拠点の形成を図ります。



鶴崎地区拠点



戸次地区拠点

■ **b. 臨海物流拠点**

**(a)大在埠頭物流拠点**

- ・大分港大在地区及びその周辺地区については、海の玄関口として、アクセス性の向上と合わせた港湾機能の強化など臨海物流拠点の形成を図ります。

■ **c. 内陸産業拠点**

**(a)複合産業業務拠点**

- ・先端産業の新たな立地が進められている岡地区周辺については、関連産業の集積や従業者用住宅の供給とともに、次世代産業の展開に向け、大学などの産学官連携により産業支援、研究支援の施設を誘導し、複合産業業務拠点の形成を図ります。



複合産業業務拠点

**(b)内陸型流通業務拠点**

- ・流通業務団地については、土地利用の促進による内陸型流通業務拠点の形成を図ります。

## 第1章 都市づくりの目標

### (c)内陸型産業拠点

- ・国道197号南バイパス周辺で先端産業などが立地している毛井地区については、さらなる産業の集積による内陸型産業拠点の形成を図ります。

## 3 | 都市軸

市域を超えた広域連携軸と地域間での都市内連携軸を都市軸と設定し、本市の道路ネットワークを中心に市内外を有機的に連携し、各種の都市機能の向上を図ります。

### ■ a. 広域連携軸

- ・東九州の大動脈である、別府・北九州方面及び臼杵・宮崎方面と連携する東九州自動車道を広域連携軸と位置付け、暫定供用区間の整備などによる機能強化を促進します。
- ・本市と竹田・熊本方面を結ぶ中九州横断道路、さらには四国・関西方面とを結ぶ豊予海峡ルート（豊後伊予連絡道路・四国新幹線）を広域連携軸として位置付け、国や九州・四国各県、関係機関などと連携し、整備実現に向けた取組を進めます。

### ■ b. 都市内連携軸

- ・大分ICと都心南北軸を連携し、さらに本市の市街地の東西連携軸となる(都)庄の原佐野線の整備を促進します。
- ・中心市街地に集中する自動車交通を分散させるために、迂回路となる(都)錦町三芳線の計画見直しの必要性について検討を行うとともに、整備を促進します。
- ・その他、拠点地区間を連携し、また隣接する都市と連携する国道や主要地方道などの幹線道路については、未整備区間や渋滞のネック箇所の整備など機能強化を促進します。



(都)庄の原佐野線

#### 4 | 土地利用特性

土地利用特性では、本市の地域特性や立地環境を踏まえ、区分を以下のように設定し、各地域の特性や特色を生かした土地利用を促進します。

##### ■ a. 中心市街地

- ・JR大分駅を中心とした市街地については、商業・業務施設の集積と機能更新、都市型住宅の立地による土地の高度利用を図ります。

##### ■ b. 複合型市街地

- ・中心市街地周辺や、臨海工業地の後背地において主として土地区画整理事業により基盤が形成された市街地については、都市型住宅と商業・業務施設などが調和しながら集積する複合型の市街地形成を図ります。

##### ■ c. 住宅市街地

- ・住宅市街地開発事業や開発行為によって形成された住宅団地、従来からの住宅を中心とした土地利用を継承していく市街地については、地区の特性に応じた住環境の維持または改善を図ります。

##### ■ d. 農地・農住共存地

- ・大分川や大野川流域などに広がる農地及び集落地については、農地や集落環境の保全とともに、生活利便施設の整備など、地域コミュニティや活力の維持を図ります。

##### ■ e. 山地・丘陵地・海岸

- ・市街地を取り囲むように広がる山地・丘陵地・海岸については、都市の環境や風致を維持する重要な要素であり、良好な自然環境を維持・保全するとともに、レクリエーション的活用を図ります。

##### ■ f. 産業施設地

- ・埋立地の臨海型工業地、内陸部の工業地や流通業務地などの産業施設地については、周辺の住環境や自然環境に配慮するとともに、生産・流通ネットワークの強化を図ります。

##### ■ g. 教育・研究施設地

- ・大学やインテリジェントタウンなどの教育・研究施設地については、それらの機能が十分に発揮できる環境を維持するとともに、産業や地域生活との連携強化を図ります。

##### ■ h. 核となる公園・緑地など

- ・大分スポーツ公園については、総合競技場の利用を促進し、市民と来訪者の交流の場となる緑の拠点形成を図ります。

## 第1章 都市づくりの目標

- ・都市の風致や良好な環境を形成する都心の森や松栄山公園などについては、都市公園区域の緑化推進や風致地区制度の活用により保全を図ります。
- ・鶴崎スポーツパーク、七瀬川自然公園及び田ノ浦ビーチについては、水と接し親しむ公園として活用します。

### ■ i. 森林環境保全ゾーン

- ・高崎山、霊山、本宮山、天面山、九六位山、樅木山及び鎧ヶ岳を中心とする山地並びに丘陵地については、緑豊かな自然環境の保全に努めます。
- ・貴重な森林資源である平成森林公園周辺の保全に努めます。

### ■ j. 湾岸レジャーゾーン

- ・美しい別府湾に面した親水空間である高崎山・田ノ浦海岸線については、市民が海と接し憩える湾岸レジャーゾーンとして、また、別大国道を中心に海・山が一体となった風景街道として整備・保全を行い、にぎわいの創出を図ります。

### ■ k. 河川環境保全ゾーン

- ・大分川や大野川、乙津川、七瀬川などの河川については、水質保全を図るとともに、河川敷の緑地の整備、親水空間の整備、自転車道の整備などを推進します。



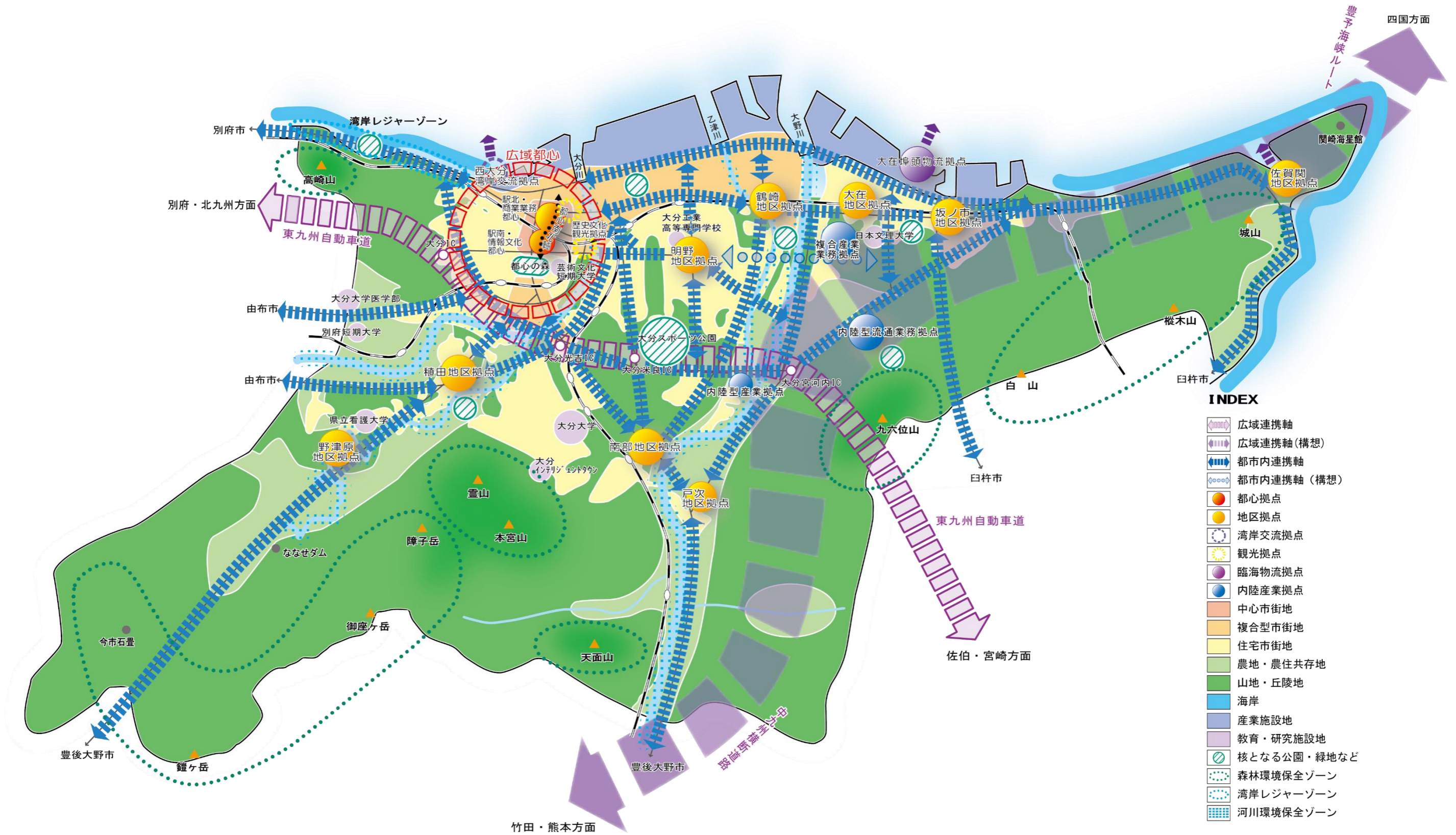
尾根を駆ける山桜（出典：おおいたきれい百選）



特急富士と田ノ浦ビーチ、高崎山（出典：おおいたきれい百選）



将来都市構造図



INDEX

- 広域連携軸
- 広域連携軸(構想)
- 都市内連携軸
- 都市内連携軸(構想)
- 都心拠点
- 地区拠点
- 湾岸交流拠点
- 観光拠点
- 臨海物流拠点
- 内陸産業拠点
- 中心市街地
- 複合型市街地
- 住宅市街地
- 農地・農住共存地
- 山地・丘陵地
- 海岸
- 産業施設地
- 教育・研究施設地
- 核となる公園・緑地など
- 森林環境保全ゾーン
- 湾岸レジャーゾーン
- 河川環境保全ゾーン

序章 都市計画マスタープランとは

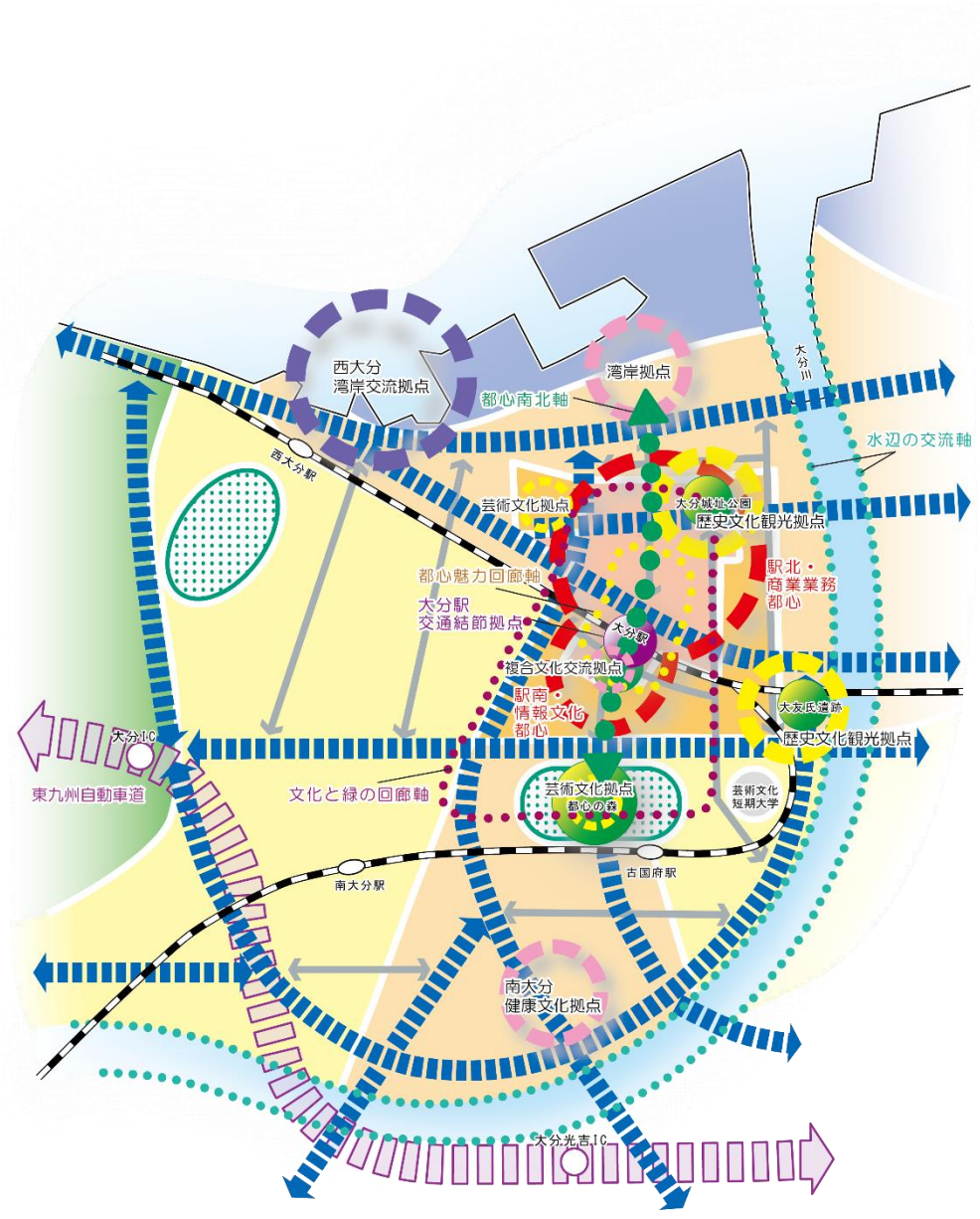
第1章 都市づくりの目標

第2章 全体構想

第3章 地区別構想

第4章 計画の実現に向けて

広域都心構造図



INDEX

- 広域連携軸
- 都市内連携軸
- 地区内連携軸
- 都心拠点
- 湾岸交流拠点
- 生活拠点
- 交通結節拠点
- 観光拠点
- 緑の拠点
- 中心市街地
- 複合型市街地
- 住宅市街地
- 山地・丘陵地
- 産業施設地
- 教育・研究施設地
- 大規模な公園・緑地
- 都心南北軸
- 都心魅力回廊軸
- 文化と緑の回廊軸
- 水辺の交流軸

序章  
都市計画  
マスタープランとは

第1章  
都市づくりの目標

第2章  
全体構想

第3章  
地区別構想

第4章  
計画の実現に向けて

